

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式						
M343G301		ベンチャー起業論 (Theory of Entrepreneurship)					未来創造キャリア・デザイン科目群								
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語		その他に使用する言語		担当形態					
選択	1	3	医学部先進医療科学科	前期	火5	日本語				複数(共同)					
担当教員	氏名 大崎 美泉、花田 克浩、上村 尚人														
	E-mail 大崎 ; yosaki@oita-u.ac.jp、花田 ; hanada@oita-u.ac.jp、上村 ; uemura@oita-u.ac.jp 内線 大崎 ; 10-7572、花田 ; 5144、上村 ; 5952														
授業の概要	医療分野における新規技術やサービスを基に、その知見を事業化へと導くために必要な知識を学修する。医療・バイオ業界は他の分野とは異なり、薬機法や化審法などによる規制が多く存在するため、それらについての理解を深める。最終的にビジネスプランを作成し、発表することで、企画力やプレゼン能力を身につける。														
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)		1	2	3	4	5	6	7
目標1	生命科学研究の成果を事業化へと向かわせる考え方の習得								○						
目標2	論理的思考力の実践										○			○	
目標3	プレゼン能力、議論、共感などを通じたコミュニケーション能力の育成									○				○	
目標4															
目標5															
目標6															
目標7															
目標8															
目標9															
目標10															
各DPへの関連度(計10)									2	2	3			3	
授業の内容															
1	経営学概論(大崎 美泉)														
2	生命科学業域の事業展開(花田 克浩)														
3	関連法規、規制など(花田 克浩)														
4	ベンチャー起業に関して我が国の課題(花田 克浩)														
5	バイオテクノロジー系ベンチャー起業(上村 尚人)														
6	創薬研究とベンチャー起業論(花田 克浩)														
7	事業計画のプレゼン、討論会(大崎 美泉、花田 克浩、上村 尚人)														
8	総括(大崎 美泉、花田 克浩、上村 尚人)														
9															
10															
11															
12															
13															
14															
15															
ラーニングゴール	A:知識の定着・確認		○ A ; 事業計画書の作成		工夫その他の										
	B:意見の表現・交換		○ B ; プレゼン、討論												
	C:応用志向		○ C ; 研究成果を事業化する視点の育成												
	D:知識の活用・創造		○ D ; 新規事業の創出を模索する思考の育成												
授業時間外学修の内容と想定時間	準備学修		講義の予習(12h)。プレゼン資料の作成(5h)。												
	事後学修		復習(12h)。												
	想定時間合計		24												
教科書	特に指定しない。														
参考書	特に指定しない。														

成績評価の方法及び評価割合	評価方法		割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	事業計画書の作成・プレゼン		50%	○	○	○							
	試験		50%	○									
注意事項													
備考													
リンク													
	URL												
担当教員の 実務経験の有無	○												
教員の 実務経験	大崎は、令和5年6月まで5年間、大分銀行社外取締役の任にあった。												
実務経験を いかした教育内容	花田は、かつて、バイオベンチャー企業である「株式会社バイオダイナミクス研究所」の創設に関わったことがある。その経験を講義に生かす。 上村は、世界的大手の製薬企業であるメルクに長年勤務し、現在は臨床薬理学講座の教授をしている。数々の創薬臨床研究をしており、創薬ベンチャー企業の支援を行っている。												